公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスMIRAIE			
○保護者評価実施期間	令和　7年　2月　1日	～	令和　7年　2月　25日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	27名	（回答者数）	22名
○従業者評価実施期間	令和　7年　2月　1日	～	令和　7年　2月　25日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5名	（回答者数）	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和　7年　3月　15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたち(ご家族も)が安心感と楽しみをもって通所できる場所。	職員全員がご利用の子どもたち全員の特性を理解し、すべての子どもたちの支援に関わることができるように取り組んでいます。そうすることで子どもたちにとっては相談できる職員がたくさんでき、子どもたちの判断で一緒に活動する職員を選択できる環境となっています。	支援に関わる職員も含め、施設内での活動について子どもたちが自己選択・自己決定ができる環境をつくることで、これからの子どもたちが安心感や楽しみを感じられる場づくりに取り組んでいきます。
2	職員間でのコミュニケーションが円滑であり、立場関係なく意見やアイデアを出すことができる。	常勤の職員だけでなく、非常勤の職員からの意見やアイデアもしっかりと取り入れて、活動に反映させています。	常勤や非常勤等、どの立場の職員でも発言しやすい環境設定を行い、よりよい支援ができるように今後も努めていきます。
3	保護者との連携と情報共有、及び情報発信。	送迎時や連絡帳、メールや電話で、子どもたちのその日の変化を見逃すことなく共有させていただいています。 また、毎月のお便りや日々のインスタグラムにて活動の様子を発信しています。	今後も引き続き、保護者との連携に努めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が少ない。	地域の他の子どもとは、公園遊びやハロウィン行事の時に交流はあるものの機会は少ないです。放課後児童クラブや児童館との交流もほとんどありません。	地域のイベントなどに積極的に参加し、交流の機会を作っていきたいと思っています。ただ単に交流の機会を設けるのではなく、子どもたちが負担に感じることがないよう、目的や目標をしっかりと設定する必要があると考えています。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会を設けることができていない。	個別の相談や、助言など相談に応じることは行っていますが、ペアレントトレーニング等の保護者向けの研修会など、開催の機会を設けることができていません。	外部研修などを積極的に取り入れ、職員のスキルアップを行っていく必要があると考えています。
3	きょうだい同士の交流の機会がない。	保護者会は行っていますが、まだきょうだいの交流には結びついていません。	保護者会やイベントを通して、きょうだい児の交流を考えていく必要があると考えています。